

第5回まちづくり活動発表会 グループワーク

グループ名 まちづくり研究会

ファシリテーター 橋本 巖

参加者	橘 長胤	谷上 恵子	田野 茂美	花井 茂樹	花岡 尚衛
	荒川 泰蔵	大原 三郎	山野 彰	中林 眞佐男	北尾 浩一

テーマ 住み続けたいまちにするには

地域コミュニティ	
課題	対策
地域とのつながりが大事 若い人に参加してほしい 高齢化にともない過疎化傾向 世代間交流の場が少ない 狭山ニュータウンの人口減少	新興住宅地の自治会をすること 自治会加入率のアップ 老人会を増やし色々なイベントに参加 年寄りが若い人に遠慮なく注意できる環境 人生経験豊富な高齢者を活かせる場が必要 友愛活動・サロン活動に積極的に参加 だんじり祭り・盆踊りでコミュニケーションを

防災関係	
課題	対策
災害時の連絡方法を知らない 防災の拠点を知らない人が多い 防災倉庫に何が入ってるか知らない 災害時用の保存物資を安く斡旋してほしい みんなが災害のないまちだと思ってる	サヤカホールにある無線の基地局を活用 (電源のない時にアマ無線が役立つ) 大きな鍋を用意するべき(炊き出し用) 防災士を招いての講習会開催 行政は防災対策を早急に 避難所の運営管理組織は行政がリーダーシップを発揮

まちづくり案
「狭山池まつり」とは別に「新しいまつり」の創設 例えば「ぶどうまつり」「花火まつり」等 行政は観光にも積極的に 空き家を利用したデイサービス まちづくり研究会に若い人を入れて新しいイベントを考えよう